

# 農村地域における伝統文化の継承が集落運営の持続性に果たす役割

## —小豆島における肥土山農村歌舞伎を事例として—

野々下 萌

キーワード：小豆島，農村歌舞伎，伝統文化の継承，集落運営，地域資源

### 1. 背景と目的

今日の日本の農山村社会においては、かつての地縁的なつながりや共同体的機能が弱体化し、さらに、加速する過疎・高齢化を背景に、地域産業や地域資源管理の担い手不足や、住民の共同性の衰退が進行し、様々な集落機能の維持が困難となってきた。このような状況の中、近年では農山村地域の在り方が見直されてきた。集落計画では、その地域のもつ風土的個性や独自の文化資源を基盤としたまちづくりを理想として、とりわけ近年、祭礼行事などの伝統的文化・慣習は地域の共同性を形成および強化する地域資源として着目されている。

そこで本研究では、小豆島における伝統文化である「肥土山農村歌舞伎」を事例に、(1) 農村歌舞伎の近年における変容と継承要因、(2) 農村歌舞伎の継承が集落へもたらす効果、(3) 住民の継承活動への関わりの程度（関与度）の違いによる農村歌舞伎に対する意識や集落への考え方の違い、を明らかにすることを目的とする。さらにこれらの結果を鑑み、伝統文化の継承が集落運営の持続性にどう役立つかを検討する。

### 2. 対象地域と研究の方法

対象地である香川県小豆郡の土庄町肥土山地区では、現在の肥土山自治会を主催に、農村歌舞伎が江戸時代より約340年もの間継承され続けている。後援者としての「肥土山農村歌舞伎保存会」が歌舞伎上演の中核を担い、地区を構成する6つの組の輪番制によって準備・運営が行われている。2016年6月30日～7月3日、8月25～29日、10月8～9日に関係者への聞き取り調査を、10月中旬に全世帯を対象にアンケート調査を行った。

### 3. 結果と考察

本研究では、主に以下の点が明らかとなった。

#### (1) 農村歌舞伎の継承要因

6組の輪番制による運営体制がそれぞれの組の責任感やプライドを養成してきたこと、および保存会が農村歌舞伎の後継者育成にも取り組むなど、地域の社会的変化に応じた柔軟な組織改編を行ってきたことや、伝統を「地域全体」で守っていくという雰囲気形成に寄与してきたことが継承要因であることが示唆された。

#### (2) 農村歌舞伎の継承が集落へもたらす効果

農村歌舞伎の継承は住民同士の交流を深め、日常における相互扶助の促進や信頼関係の構築という効果を集落にもたらすことが明らかとなった。さらに、農村歌舞伎という共通の経験が、地域組織における結束を生むこと、住民の共同意識の形成に寄与することが示唆された。

#### (3) 農村歌舞伎への関わりの程度の違いによる住民意識の差

農村歌舞伎への関わりが深い住民ほど、集落の住環境への満足度が高く、集落とのつながりが強く、近隣住民に対して協力的であり、集落への誇りと定住意識も高いことが明らかとなった。また、住民の関わりの程度に関係なく、農村歌舞伎は集落にとって必要だと認識されていることが明らかとなった。

以上の結果より、伝統文化の継承活動が高い「住民自治力」を育み、集落運営の持続性に寄与していることが示唆された。今後の農村振興においては、こうした文化資源に対して集落への実践的価値を丁寧に評価した上で、さらにこれに応じた保全策や活用策を講じていくことにも重点を置くことが重要だと考えられる。